



私たちは花が好き。緑が好き。人が好き。

園芸福祉ふくおかネット

花便り No. 61



■ 目次

- ① 花の祭典～FUKUOKA FLOWER SHOW～PRE-EVENT
- ② 園芸福祉の庭
- ③ 一人一花サミット
- ④ ボタニカルライフスクエア一人一花ハッスル事業
- ⑤ 外部講師活動
- ⑥ 福岡市役所玄関前花壇
- ⑦ 会員研修会
- ⑧ 会員の園芸福祉活動

※お知らせ

花の祭典～FUKUOKA FLOWER SHOW～PRE-EVENT

2025年3月23日(日)～27(木)



黒瀬 恵子

3月19日(水)福岡市緑のコーディネーターのスキルアップ研修会として、ハンギングバスケットづくりが行われ、午前の部の講師を担当させていただきました。フラワーショーの会場に200基のハンギングを飾るということで、その内の100基を受け持つことになりました。研修会で作成し直ぐにはきれいににならないだろうからと、100基の内の20基は講師で作ることになりましたが、45名の参加者で、とても80基のハンギングは作れません。しかも、参加者の中にはハンギングを作るのが初めての方が多とのこと。そこで、制作に慣れている園芸福祉ふくおかネットを推薦し、会員であれば研修会に参加できるようになりました。制作して5日後にはフラワーショー開幕、テーマカラーはピンク、数の多さと時間の無さ。研修会で作るハンギングでも作成して直ぐにきれいになるようにしたいと思い、いくつも試作を重ね、色鮮やかなピンク色のゼラニウムをフォーカルポイントにして、マーガレットやビオラを用いて作ることにしました。初めてハンギングを作る人にも分かりやすいようにモニターを使ってもらう事にしました。指導者は早朝7時に集まり講座をスムーズに進めるため、ハンギングを作りながらポイントを確認しました。制作後に各自、作品を持ち展示場所に移動して一斉に灌水するためにペットボトルを持参してもらうようお願いし、発根を促進するためメネデル灌水にしてもらいました。養生期間は不織布で寒さや日差しを緩和してもらうようお願いしましたが、それも関係者の皆さまが直ぐに対応して下さり有難かったです。会員が一致団結して、研修会では作り切れなかったハンギングを午後からも熱心に制作したお陰で、80基作り終えることができました。一人ひとりの作ったハンギングはフラワーショーの特設会場を華やかに彩り、多くの皆さまに喜んで頂けたことでしょう。早朝から遅くまで、会員の皆様のご協力、本当にありがとうございました。



◆研修会の様子



◆会員の制作の様子



◆福岡市植物園内展示の様子



★福岡フラワーショープレイイベント用市役所前プランター作成報告★

沖本 円

3月4日に黒瀬代表よりプランター作成の電話があり「7日までに材料調達と見積り書作成とイメージ図の提出をすること」「10日に設置すること」を伺いました。

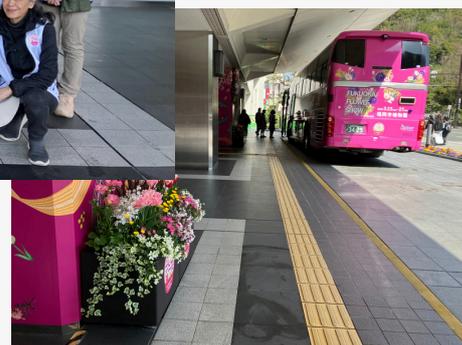
2人で手分けして、準備に取り掛かります。テーマカラーは、ピンクでメインの花苗にはチューリップを選びました。園芸店に勤めているネットのメンバーの近藤さんに代表が連絡を取り、夕方に花市場から到着したばかりのトラックから降ろされた花鉢と価格を次々と写メで送っていただき、それを転送していただいて花鉢を選ぶことができました。足りない材料は代表が近場の園芸店で調達。6日には予算出しとイメージ図にかかり23時頃平面図彩色完了。

依頼者はプレイイベント請負の業者さんです。まちづくり協会から代表に相談があり、園芸福祉ふくおかネットが市役所花壇の管理をしているので一緒の方が良いのでは、ということのようでしたが、「沖本さんはイメージ図が描けるので、沖本さんが良いなら受ける」と言われ、快諾しました。花苗に予算の半分を使い本当に豪華なプランターになりました。イベントの基調色がピンクで、白とピンクの濃淡に赤やコルジリネの暗い赤茶を配置し、光のまたたきの様にムルチコーレの輝く黄色を散りばめました。プランターの実際の面積が狭かったり、2基で一塊に設置されていたりで配置の変更が多々ありましたが、ネットのメンバーの協力で無事完成。撤去までの20日間代表と二人で管理を週2回し、植え付けた花苗も次々と開花しイベント期間中(3月23~27日)には満開になりました。31日の撤去まで保持してくれ本当に良かったです。この怒涛の4週間を乗り切れたのは、ハンギングバスケットの依頼も抱えながらの黒瀬代表の八面六臂の働きと園芸福祉ふくおかネットメンバーのネットワークの素晴らしさでした。代表と二人で、すごいね奇跡的だねと喜びました。何歳になっても皆で何かをやり遂げるって幸せな経験ですね。ありがとうございます。

追記、撤去した花苗はアイランドシティ中央公園の園芸福祉の庭に移植して、元気に育っています。



◆福岡市役所玄関前



園芸福祉の庭



吉松 里美

今回初めて「車椅子利用の人達と一緒に楽しむ花壇 レイズドベッド」のデザインを担当させて頂きました。

まず、テーマを「寒い時期に感じる心の暖かさ」に、コンセプトは「優しい香りや、ビタミンカラーの植物に触れられる、ほっと和む空間」として花苗を考えました。

いつもは植え付け作業だけしていたので、実際にデザインを考えると「簡単にはできない」と言う事を痛感致しました。ただ、デザインするだけではなく、高価格にならない事も考慮しないといけない等、花苗選びの大変さも実感する事になり、大変勉強になりました。

最初は「カルーナ」も候補に入れていましたが、高価格の為、使用は諦めて「白妙菊・香りストック・よく咲くすみれ・アリッサム・プリムラジュリアン」に再考して依頼したところ、猛暑と残暑の影響で「プリムラジュリアン」の成育が間に合わず、「金魚草」に変更する事になりました。

レイズドベッドは左右対称なので他の花壇に比べると配置しやすいと思いましたが、初めてと言う事もあり苦慮しました。

二つのレイズドベッドのデザインは、全く同じ配置にせず、色も変えて工夫してみたつもりでしたが、いざ植え込みが終わった後は、頭で考えていたイメージとは少し違っていました。日にちが経って成育した後、また違う様子を見せてくれる事を楽しみにしています。

他の花壇のデザインも各々個性的で素敵な仕上がりでした。

皆様本当にお疲れ様でした。

★今までデザインを担当された方々、そしていつもデザイン、花苗選びをして頂いている黒瀬代表に改めて感謝致します。

◆花苗植え付け作業に於いて 2024/11/24



◆園芸福祉の庭

2025/4/15現在の様子





「高齢者の人たちと一緒に楽しむ花壇」

須賀 陽子

テーマ：日常に感謝

コンセプト：幾度も世界規模のパンデミックを乗り越えられた喜び

この花壇に足を運んでくださる、ご高齢の皆様には馴染みのある祝花と甘い香りの花を共に希望も添えて植え込みました。寒さが過ぎ春になれば、皆が大好きなチューリップの咲きっぷりに、ほっこり楽しんでいただけるように工夫したデザインにしました。



「子どもたちと一緒に楽しむ花壇」

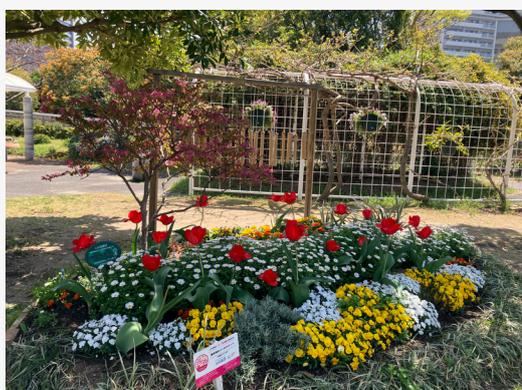
入船 真帆

テーマ：秘密基地

コンセプト：森の中にある、野花が咲く少し開けた場所にあるイメージ

ハナムグリなどの花粉を食べる小型甲虫が好むアリッサムや、ツマグロヒョウモン等蝶が好むパンジー・ビオラ、香りがあるストック、手触りが良いシロタエギク等で植物そのものの魅力で居心地良く、それに関する生態を学ぶ機会になるスペースにしようと思いました。

パステルカラーのお花を配置することで全体的に明るい雰囲気になるよう考えました。



「視覚に障がいのある人たちと一緒に楽しむ花壇」

沖本 円

テーマ：草花の元気をあなたへ

コンセプト：鮮やかな明るいビタミンカラーの花壇で元気に。春には、ムスカリやアリッサムの甘い香りに包まれて幸せに。



「ストレスを解消する花壇」

溝口 孝夫

テーマ：心が弾む春

コンセプト：春の暖かさと共に花壇一面に咲く花々が持つエネルギーで心や体を落ち着かせ心のバランスを整え、ポジティブな気持ちになるように花の色や種類を考えて花壇を作りました。

【一人一花サミット2024】 体験講座実施



入船 真帆

令和6年10月5日(土)・6日(日)の10:00~16:00、福岡市植物園で開催された『一人一花サミット2024』において、「ハーブスプレー作り」と「エッグプランツ作り」の体験講座のスタッフとして参加しました。

どちらの作り方も事前に研修で学んでいたものの、実際に参加者へ適切に伝えられるか不安がありました。しかし当日に再度指導を受け、仲間と支え合いながら取り組むことで自信を持ち進めることができました。互いにフォローし合い、試行錯誤しながら活動する時間は、とても充実したものでした。

体験講座には、小さな子どもからシニア世代まで幅広い年齢層の方々にご参加いただきました。制作を通じて自然と会話が生まれ、私と参加者だけでなく、参加者同士の交流の場にもなったことがとても印象的でした。笑顔があふれる豊かな時間を共有できたと感じています。

ハーブスプレー作りでは、エタノールと水が混ざる際に発生する混合熱に興味を持たれた方が多く、科学的な好奇心を刺激する場面もありました。ハーブの香りを楽しみ効能を学びながら、思いがけず科学の面白さにも触れられるというのは、素敵な副産物と思います。

エッグプランツ作りでは、多肉植物に初めて触れる参加者もあり「本物の卵の殻に植え付ける」というユニークな発想に驚く声も聞かれました。植物への新たな興味や関心を引き出し、身近な素材で楽しめることを知っていただけたのは嬉しい経験でした。

この体験講座を通じて、植物が人と人とのつながりを生み、知的好奇心も刺激する可能性だけでなく、仲間と共に活動することの楽しさや達成感も改めて実感しました。今後もより多くの方々楽しんでいただけるよう、花と緑のある豊かな暮らしの魅力を広げる園芸福祉の活動を続けていきたいと思っております。

ボタニカルライフスクエア 【一人一花ハッスル事業体験講座】実施



北野 多美子

ボタニカルライフスクエアは、令和5年3月に(公財)福岡市緑のまちづくり協会が一人一花運動の拠点である福岡市植物園において、緑のある空間や生活の良さを感じてもらい花や緑のあるライフスタイルの発見、発想、発信を生み出す施設としてオープンしました。

園芸福祉ふくおかネットはオープン当初より「苔玉づくり」「エッグプランツ」「オリジナルハーブスプレー作り」の体験講座を実施してきました。

令和7年度は園芸福祉ふくおかネットが体験講座を定期的の実施することで、周知されることを目標にしており、「ハーブスプレー作り」に限定し、

- ・5/10(土)
- ・6/14(土)
- ・7/5(土)
- ・8/9(土)
- ・9/13(土)

午後1時から4時に実施します。

会員の皆様にもスタッフとして参加いただき体験される方と共にハーブの心地よい香りに包まれながら、心が和み思わず笑顔になれる時間を共有しましょう。



外部講師活動



●新宮町の「みんなで育てる笑顔の花講座」

諫山 みどり

新宮町の社会福祉協議会から園芸福祉ふくおかネットに講演の依頼があり、10月21日、10月28日の2回に分けて座学と実習を行いました。

1回目の座学は、黒瀬代表が「園芸福祉ってどんな事？」という内容で、園芸福祉とは「障がい者も高齢者も健常者も青少年もみんなが植物に接してしあわせになろう」をモットーにしている活動で、園芸福祉の成り立ちや活動を通しての効果・効用を楽しそうに作業している様子や出来上がった花壇などをパワーポイントで写真も紹介しながら講義されました。

新宮町は福祉の町として様々な活動をしているという事で、参加者の方々はとても興味深そうでした。質疑応答コーナーでは土づくり、花の植え替え時期、ベランダ栽培での注意点など次々と質問があり、時間オーバーするくらいでした。

2回目は「花壇のテーマをみんなで話し合おう」「花壇づくりを実践しよう」という事で5つのグループに分かれて作業しました。皆様イキイキと楽しそうに作業され、花はすべて同じなのに、グループごとにそれぞれに個性があり良い仕上がりとなりました。出来上がった花壇をみて通りがかりの方から「雑草ばかりだったのに明るくきれいになった」と声をかけてもらいました。

「参加して良かった!」「楽しかった!」「植え方のコツもよくわかりました」と皆様満足されて解散となりました。

私もスタッフとして参加させてもらいながら、園芸福祉ってなんかやっぱり良いなって思いました。



●福岡市立特別支援学校「博多高等学園」

近藤 由紀子

昨年は外部講師として黒瀬代表と3回参加させていただきました。

9月はハンギングバスケットづくり、11月は花壇の花植え、12月はお正月の寄せ植えづくりでした。

生徒さん達は、廊下ですれ違う時には立ち止まり大きな声で挨拶をしてくれます。

授業の間は真剣に話を聞き、取り組み、事ある事にお礼を言ってくれます。

生徒さん達が丁寧に植えた花は凛と並び、まるで生徒さん達のようにです。

そんな生徒さん達に私は毎回胸を打たれ背筋の伸びる思いがします。

若い生徒さん達は日頃花や土や虫に触れることはあまりないかもしれませんが、こうした機会を持つことで視野が広がり、もしかしたら進路の選択肢が増えることがあるかもしれません。

何事も経験。その経験の一部に関わらせていただいた。生徒さん達の明るい未来を願いながら生徒さん達と一緒に花を植えた時間は私自身の上等な肥やしになりました。

福岡市役所玄関前花壇



吉武 多恵子

毎週火曜日に、福岡市役所前花壇の管理作業を園芸福祉ふくおかネットのスタッフで行っております。冬の間は、落ち葉拾いが中心でしたが、春になると、植物達が一気に目を覚まします。風に揺れるチューリップは軽やかで、色とりどりのビオラは小さな顔を空に向け、甘く淡い香りのアリッサムはそっと地を這い、花壇を包み込んでいます。作業中に背中に感じる陽のぬくもりも、冷たさを忘れるようにゆっくりと、やさしくなりました。

花壇のダンゴムシさん、ナメクジさん、せっかく咲いたこの小さな命、どうか見守る側でいてほしいの。君たちの居場所もちゃんとあるから、花じゃないごはん、探してみてね。やさしく共に生きられたなら、きっとこの花壇ももっと素敵になるよ。



会員研修会



●ハンギングバスケット研修会

吉武 多恵子

2024年11月24日、アイランドシティ中央公園で黒瀬代表より研修会をしていただきました。

ビオラ8ポットを中心に、1ポットに2本仕立てだったバコパを分けスリット上部に2箇所離して植えて、多粒蒔きの白のアリッサムは1ポットを3等分にしてスリット最上部にのせ、容器の天部にはよく咲くスマレとシロタエギクを1ポットずつすす、という構成でした。

一緒に参加させてもらった娘が、花の色選びから植えこみまで初めての挑戦！

向きを考えながらスリットに苗を差し込み隙間に土を丁寧に詰めていく作業を繰り返し、最後は湿らせた水苔を手でよりながら土が見えないように詰めていくと完成！

達成感はもちろん、絵の具にはないお花のカラーfulnessに興味深々でした。

参加者の皆様からも、娘にも優しく声をかけて頂けて素敵な時間を過ごすことが出来ました。私的には、華やかなビオラの間にもふわふわとしたバコパが可愛くて、全体の見え方のバランスを考えながら植えこむハンギングバスケットが更に好きになりました。



会員の園芸福祉活動

●「園芸福祉体験授業」北九州市立小倉南特別支援学校にて

溝口 孝夫

今回は、学校から「卒業式に使う寄せ植えを作って欲しい」と要請があり、2月21日（金）に園芸福祉体験授業を計画して実施しました。本校では、3年前に実施して2回目となります。前回と同様に「園芸福祉ふくおかネット」に依頼したかったのですが、今回は、学校が利用している苗屋さんに手伝っていただくこととなりました。

前日に学校に届いた大量のプリムラやパンジーの苗を見て生徒は、「きれい」「かわいい」と喜んでくれました。みんなで作業棟まで明日の寄せ植え体験を楽しみにしながら大事に運んでくれました。

2月21日の当日は、生徒11名で、苗屋さんをスタッフに迎えて、2年生の生徒代表のあいさつで園芸体験の授業が始まりました。花苗や道具の名前や作業手順を説明しながら安全に作業を進めました。生徒は、鉢底石を敷き詰めプランターの内側に貼られたテープの位置まで慎重に用土を入れました。石や土の感触を掌で感じ楽しむこともできました。花に顔を近づけ香りを嗅ぐ生徒もいました。

講師の説明や師範を見て、始めは恐る恐る指をV字にして苗を挟んでポットから抜いていましたが、慣れてくると手際よくできるようになりました。教師や苗屋さんも一人一人の作業の様子を見ながら、声をかけアドバイスしたり支援したりしました。生徒は、10ポットの苗を植え付け終わるとテーブルを回ってお互いの作品を鑑賞し、和気あいあいと互いの寄せ植えの出来栄を褒めあっていました。

水やりの説明を講師から聞いて、プランターを友達と協力して屋外に運びました。教師と一緒に10まで数唱しながらやさしく水やりができました。これから自分たちで世話をすることをみんなで確認して、自分が作った寄せ植えが、卒業式の会場を彩ったことでしょう。

振り返りで生徒は「花を植えて気分が良くなりました」、「教えてもらって楽しくできました」、「自分で花を植えて楽しかったです」等の感想を発表してくれました。

私も園芸福祉士の資格を取得して単独での初仕事で不安でしたが、「園芸福祉ふくおかネット」のみなさんの応援や苗屋さんのサポートもあり無事に終えることができました。



植物園から撤去したハンギングバスケット

●照葉中央公園の案内板



●春日公園のハーブ花壇



●園芸福祉の庭



●福岡市総合体育館



お知らせ

第22回 通常総会

日時：6月8日(日)11:00より(10:30～受付)
場所：アイランドシティ中央公園 ワークショップルーム

▽「園芸福祉の庭」定例作業

- ◆定例作業/第2月曜日・最終日曜日 10時～12時 (6月～9月は9時～11時)
12月はこれまで第2月曜日だけで、最終日曜日はお休みしていましたが、今年度から第2月曜日と第3日曜日に行いますので、ご参加よろしくお願ひ致します。
- ◆ところ/アイランドシティ中央公園 園芸福祉の庭 (福岡市東区香椎照葉4丁目)
※雨天の時は中止、次週に変更です。

▽入会手続きのご案内

- ◆入会を希望される方は事務局 (下記掲載) にご連絡下さい。
その後下記の口座に年会費2,000円をお振り込み頂き入金確認後に入会となります。
- ◆活動と一緒にされているお仲間やお友達など、園芸福祉に関心をお持ちの方がいらっしやいましたらお気軽にお誘ひ下さい。
- ◆お振り込み先/西日本シティ銀行 小笹支店 店番222 普通貯金 口座番号1025817
園芸福祉ふくおかネット 代表 黒瀬恵子

園芸福祉ふくおかネット事務局

〒811-1351 福岡市南区屋形原2-40-6-1
TEL 090-5020-8758 (北野)
FAX 092-553-8066
E-mail engeifukushi.fukuoka@gmail.com
URL <https://www.engeifukushi-Fukuoka.net/>
花便り第61号 令和7年4月
編集・発行/園芸福祉ふくおかネット